

様式4



平成25年3月25日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿

特定非営利活動法人 宮崎文化本舗

理事長 石田 達也



新しい公共支援事業に関する報告について

新しい公共支援事業について、以下のとおり支援の成果及び自己評価等を報告する。

1. 報告者の位置づけ

- 支援対象者（活動基盤整備支援、寄附募集支援、融資円滑化支援）
- 支援対象者（つなぎ融資への利子補給）
- 事業実施主体（新しい公共の場づくりのためのモデル事業）
- 事業実施主体（社会イノベーション推進のためのモデル事業）
- 都道府県から業務を受託した中間支援組織等

2. 新しい公共支援事業に係る成果

様式4-5を参照。

3. 添付書類

- (1) 2において参照する様式及び別紙
- (2) その他参考となる書類

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 寄附文化醸成プロジェクトAraco
事業の種類別	<input type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input checked="" type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他(複数回答可)
受託者名	特定非営利活動法人 宮崎文化本舗
実施期間	平成24年4月2日～平成25年3月22日
受託金額	15,000,000円
受託内容	<p>複数のメディアを混合して、NPO等への寄附の必要性・重要性、寄附対象となるNPO等の活動紹介等を広報し、県民、企業等の様々な層に寄附の大切さの理解を促し、寄附行動への誘発を図るため、次の事業を実施した。</p> <p>(1) 寄附文化醸成委員会による事業の進捗管理</p> <p>①寄附文化醸成委員会(アタラコ運営協議会)の開催 計5回(添付資料:議事録)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一回寄附文化醸成委員会:(みやざきアートセンター:平成24年7月13日) 参加:14名 田中 康文氏 内閣府 震災ボランティア連携室 企画官 濱砂 清 氏 一般社団法人 SINKa 代表 濱砂 圭子氏 NPO法人NPOふくおか代表 山口 純哉氏 長崎大学経済学部教授 三浦 逸朗氏 NPO法人地域環境ネットワーク代表 吉村 一彦氏 大分県県民活動支援室主査 井上 優 氏 NPO法人 iさいと代表 <p>プラネットノア(萩原) 宮日総合広告(丸山) 宮崎文化本舗(石田、高妻、山内、桑畑、黒田)</p> <p>主な議題:①今年度のアタラコの進め方について ②認定NPO法人化をどう進めるか(文化本舗か他団体か) ③アタラコ基金や災害に備える寄附について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二回寄附文化醸成委員会:(みやざき県民協働支援センター:平成24年9月22日) 参加:13名 田中 康文氏 内閣府 震災ボランティア連携室 企画官 濱砂 清 氏 一般社団法人 SINKa 代表 山口 純哉氏 長崎大学経済学部教授 根岸 裕孝氏 宮崎大学教育文化学部准教授 井上 優 氏 NPO法人 iさいと代表

奈須 悦雄氏 NPO法人地域診断士研究会 中小企業診断士
松尾 洋 氏 ㈱くまもと健康支援研究所
プラネットノア (萩原)、宮日総合広告 (丸山)、宮崎文化本舗 (石田、山内)
オブザーバー
長崎大学経済学部 (西、藤戸)

主な議題：①災害に備えるための寄附の仕組みづくりについて
②受け皿となる認定NPO法人をいさいとへ
③これから行う広報展開について

・ 第三回寄附文化醸成委員会：(みやざき県民協働支援センター：平成24年12月18日)

参加：12名

田中 康文氏 内閣府 震災ボランティア連携室 企画官
濱砂 圭子氏 NPO法人NPOふくおか代表
河内さゆり氏 一般社団法人 SINKa
山口 純哉氏 長崎大学経済学部教授
根岸 裕孝氏 宮崎大学教育文化学部准教授
野上 泰生氏 大分県別府市市議会議員・NPO法人ハットウ・オンパク代表
杉本 利雄氏 有限会社ラピュタファーム
プラネットノア (萩原)、宮日総合広告 (丸山)、宮崎文化本舗 (石田、高妻、黒田)

主な議題：①アタラコ基金の設立を次年度以降とする
②広報について具体的なスケジュールと内容
③アタラコと情報発信についての講座を行う
④YAHOO! リスティング広告などの新しい展開について

・ 第四回寄附文化醸成委員会：(みやざき県民協働支援センター：平成25年2月20日)

参加：9名

田中 康文氏 内閣府 震災ボランティア連携室 企画官
濱砂 清 氏 一般社団法人 SINKa 代表
根岸 裕孝氏 宮崎大学教育文化学部准教授
井上 優 氏 NPO法人 いさいと代表
プラネットノア (萩原・萩原) 宮崎文化本舗 (石田、高妻、黒田)

主な議題：①県内でのアタラコ告知活動
②東京での広報活動について
③アタラコの講座を開催
④いさいとの認定NPO法人化について
⑤今後の寄附集め展開について

・ 第五回寄附文化醸成委員会：(みやざき県民協働支援センター：平成25年3月15日)

参加：12名

田中 康文氏 内閣府 震災ボランティア連携室 企画官
濱砂 清 氏 一般社団法人 SINKa 代表
根岸 裕孝氏 宮崎大学教育文化学部准教授
井上 優 氏 NPO法人 いさいと代表

プラネットノア（萩原） 宮日総合広告（丸山） 宮崎文化本舗（石田、高妻、山内）
 主な議題：①平成24年度事業報告について
 ②次年度にむけて

(2) 寄附マッチングを目的としたポータルサイトの運営

- ・登録団体 29 団体：3 月 22 日段階（平成 23 年度登録 18 団体・今年度 13 団体新加入）
- ・寄附総額 2,495,740 円：3 月 22 日段階

登録団体一覧

特定非営利活動法人 五ヶ瀬川流域ネットワーク
特定非営利活動法人 チャイルドラインみやざき
特定非営利活動法人 エコワールドきりしま
特定非営利活動法人 大淀川流域ネットワーク
特定非営利活動法人 セーフティ・ライフ&リバー
特定非営利活動法人 子どもの森
特定非営利活動法人 ひむかり山自然塾
特定非営利活動法人 宮崎県障がい者支援ここ
特定非営利活動法人 ハートスペース M
てるはの森の会
特定非営利活動法人 みやざき教育支援協議会
特定非営利活動法人 フロンティア会
特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校
特定非営利活動法人 宮崎県ノルディックウォーキング協会
特定非営利活動法人 宮崎県マンション管理組合連合会
特定非営利活動法人 宮崎国際ボランティアセンター
宮崎映画祭実行委員会
みやざき国際ストリート音楽祭実行委員会
特定非営利活動法人 オレンジ
特定非営利活動法人精神障がい者自立支援ネットワーク・宮崎もやいの会
水平線の花火と音楽3実行委員会
みやざきフラワーロード・ネットワーク
特定非営利活動法人 さいと
特定非営利活動法人 みやざき子ども文化センター
特定非営利活動法人 食生活応援団ベジフルバスケット
特定非営利活動法人 SUNクラブ ひまわり
特定非営利活動法人 すまいる
特定非営利活動法人 NPOきづな
特定非営利活動法人 リバーシブル日向

(3) 寄附文化醸成のための広報活動

複数のメディアを活用した広報の実施

①新聞等

- ・新聞広告掲載（添付資料：「新聞掲載資料」）

②テレビ・ラジオ

- ・ テレビCM
- ・ ラジオCM

- ・ パブリシテイ展開(添付資料：「録画DVD」)

●MR T 朝の情報番組「アッパレ! miyazaki」番組内コーナー：アタラコナビ(隔週金曜日にアタラコ登録団体が出演し、PRするコーナー)

- 1、12月7日 出演団体：NPO法人 宮崎文化本舗
- 2、12月21日 出演団体：みやざきフラワーロード・ネットワーク
- 3、1月11日 出演団体：NPO法人 フロンティア会
- 4、1月25日 出演団体：NPO法人 オレンジ
- 5、2月1日 出演団体：NPO法人 iさいと
- 6、2月22日 出演団体：NPO法人 大淀川流域ネットワーク
- 7、3月8日 出演団体：NPO法人 チャイルドライン宮崎
- 8、3月15日 出演団体：みやざき国際ストリート音楽祭実行委員会

●MR T 「情熱企業」

- 1、12月8日 宮崎文化本舗を特集・番組内でアタラコの告知

●UMK 朝の情報番組「3きゅう」

- 1、2月8日 番組内告知

③その他

- ・ miten 等ホームページバナー広告
- ・ アタラコリーフレット配布
- ・ Yahoo!リスティング広告展開

(4)その他

① ホームページ更新

- ・ アタラコ登録団体情報発信の仕組みとして、フェイスブックとのリンクを構築

② 講座

- ・ アタラコと facebook 活用講座(添付資料：講演録)

開催日：平成25年2月10日 13時30分～15時

開催場所：みやざき県民協働支援センター(宮崎市錦町1-10 宮崎グリーンスフィア壺番館3階)

参加者：22名

内 容：「アタラコ」と「facebook」活用講座

講 師：NPO法人 宮崎文化本舗 高妻孝光

NPO法人 iさいと 高家和也氏

③ アタラコ登録のための県内拠点団体訪問活動(添付資料：訪問記録)

- ・ (県北)延岡市協働市民協働まちづくりセンター
- ・ (県西)都城市ウェルネス交流プラザ
- ・ (県南)日南市市民活動支援センター

得られた成果及び自己評価

(1) 宮崎県内外の有識者に集まっていたいただいた運営協議会について

本事業の進捗について、また管理について、さまざまなご意見をいただきました。それ以上に事務局と宮崎大学の根岸准教授以外は宮崎県外の方で、各地域のNPO等の実践者ということもあり、それぞれの地域で仕入れた事例など目新しいご提案を頂いたことも非常にありがたい。

さらに、それぞれの地元にて、「アタラコ」の告知をしていただいている。「アタラコ」については次年度以降も継続していくつもりであり、次年度については予算もなくなるが、何らかの形で、運営委員会については残していきながら、さまざまな形で関係性をつなげていきたい。

(2) 寄附マッチングを目的としたポータルサイトの運営

マッチングのベースとなる市民活動団体の「アタラコ」への登録数であるが、昨年度事業終了時の登録団体が18団体で、今年度11団体の新規登録があり、トータルで29団体となる。この登録の実数を見ると、NPO法人や市民活動団体の総数からするとアタラコのポータルサイトへの登録にいたっていないケースが多く、寄附や情報開示に対する関心度はまだまだといわざるを得ない。

実際に今年度の登録については、年度後半に登録希望団体が増加をしたが、これは年末より年度末にかけてメディアでの広報や案内を送付したことなど、告知を多角的に行ったことが関係すると思われる。また、テレビや新聞等の告知が始まると、市民団体からの問い合わせ等も増加してきた。ただ、登録についてこちらが設けたハードルであるが、開設から1年未満の団体としてお断りする例も数件あった。鉄は熱いうちに打てではないが、立ち上げたばかりの団体は非常に熱意があり、登録や情報開示にも前向きで、次年度以降に「アタラコ」への参加を促したい。

実際の寄附については、アタラコを通じて総額2,495,740円(平成23年度:72,000円、平成24年度:2,423,740円)の寄附があった。団体によって、寄附金額の差がずいぶんあるのだが、これについて感じたことは、多く寄附を受けている団体は「アタラコ」に登録する前後に、寄附について団体で考え、寄附をいただけるよう情報発信やネットワーク作りを行い、自ら動き回っていくことで独自に寄附を集めていることである。新しい公共の概念は、公共を市民の側でも行うこと、つまり、行政や誰か他の人にまかせっきりにするのではなく、自活することであるということを改めて感じ、また、寄附は人と人との関係性の中から生まれることを知った。次年度はこの寄附を集めている団体のさまざまなノウハウをお聞きし、それ以外の団体へ伝えていくことがわれわれの宿題となった。

また、登録に関して、今年度は「公共」という枠のあった事業だが、次年度からは、学校の部活動なども加入できるようにするなどもう少し参加の幅をひろげた形でのアタラコ運営を行おうと考えている。

(3) 寄附文化醸成のための広報活動

宮日新聞、UMKテレビ宮崎、MRT宮崎放送、FMみやざき、インターネットバナー広告、フェイスブック内広告と宮崎県内におけるほぼすべてのメディアに年末から年度末にかけて広報の集中投下を行ったことにより、「宮崎の市民活動」と「アタラコ」及び「寄附」というキーワードをかなりの県民が目にする機会を作ることができた。

利用者のアタラコへのホームページ訪問数をみると、やはり、テレビなどが告知して

	<p>いる期間に集中しており、大手媒体の広告効果の高さがうかがえる。</p> <p>次年度以降はこういった、大規模な広告展開は打てないため、地道な活動となっているが、他団体主催のイベント等への参加や、アタラコ主催の寄附イベントの立ち上げなど注目度を高める活動を行って行きたいと考える。</p> <p>(4) その他</p> <p>つながるということに重点をおき、アタラコのシステムに facebook を組み込んだ。また、当初の事業計画では予定していなかったが、講座の開催や、拠点施設や団体への訪問活動を行った。これは、寄附についての文化醸成を行うことはもちろんだが、寄附を集めるためのベースとなる情報発信について、改めてNPO団体に対してお伝えしておく必要があると感じたためである。まして、今は facebook などのソーシャルネットワークサービス等があり、ホームページを作って管理するほどの手間はない。NPO団体はネットワーク作りが基本と考え、こういった便利ツールについてお伝えしておく必要性があった。さんかについては今回 22 名であったが、次回は、もっと少人数形式で行い、自分の携帯電話などを使って facebook をその場で登録し、その場にいる者同士で友達申請と記事の発信などを行っていくことを考えている。使ってみれば facebook はお手軽で、簡単なツールであり、なによりネットワークが広がることは団体のためになることではなかろうか。</p>
評価リンク	<input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった

2. 添付書類

その他参考となる書類

1. 領収書類
2. CMタイムライン表(UMKテレビ・MRTテレビ・MRTラジオ・FMみやざき)
3. 運営委員会議事録(全5回)
4. 新聞広報記録
5. 講座に関する記録(配布チラシ、講演録、講座パワーポイント資料)
6. DVD資料モニタービデオ写し(MRT・アップレ miyazaki !、情熱企業、UMK 3 きゅうパブ)
7. 新聞広報現物
8. 様式9(新規団体で、昨年度の新しい公共支援事業に提出がなかったところ)